員は勤勞即数音だるの本職を提 四、教育訓練と協力

十時間(休憩等の時間を含む)

(2) 験員の記去談響を徹底せし る場所に於いて作業せしめざる 機十三頭- 使定月 7 一 條十二國-金前共送報方地 (統六金 原定配一) 一三日丁-通平太縣中府城京 並報日城京 並会資合 所行費 平 太 官 萬 人行內領機關 鄉 觀 野 仲 人 朝 印

0歲之家

應出必報

するも作業に慣熟せざる期間は一般企業員と同僚と

豫防、災害疾病措置

(1) 通卵し得さる場合機関の領

追加機能局より指示あるべまで (1) 食物等は一般従語語と概わ

(五) 受入側は等月一定期日に満 本及び特別報信の別により明細 響を附し一括器夜線力候長に納 付するNと

八、宿泊其他の設備

九、食事其他の給與

宿舍 110人以付於應所

派費貿任教職員附続の上一階と(2)宿泊は一般従業員と區別し

員の場合は必ず女子専用宿舍にして収容すること、特に女子除

収容し且つ女子に必要なる施設

同様にすること

定期券を購入し交付すること側に於て負擔し成るべく啖買に

成るべく受入側より職員等を派 常り身間検査を冒筋する場合は

(2) 単徒をして常に生露の開家

(3) 鉄質死亡其の他重大なる事の狀況に質証し疾病の豫的、事

4 自残験める場合に流にり感夜感動の場合に流にり感夜感動の場合に必ずが付り、 (3) 削縮の網辺を接除し残骸め

故は順に階層官権及び父兄に報

力騒声に於て之を保管し其の関

明治前期經濟史研究 第一卷半區 離離署 【 \$ 5 至 5 页 6 页 6 元 三 元

ジェウォンズ經濟學の理外界 最三羅 ▲5四八〇頁仮も

論語

(1) 際員の安全教育を徹底すると共に常に作業指導者と協力した共に常に作業指導者と協力した共に常に有いますること

し得る原則に於て之を検收するし得る原則に於て之を検収する

統田原

制馬

A5113AB夏 (NA-00)

一般指導監督

災害疾病措置

授業科其の他教育上學派より他 れたる基準に持るものなること

H

本評論址

新刊

七月中旬酸胃

防止、疾病豫

通動に関する交通器は受

償

素地との往復族費(三等料金)

定期に結核に重點を置く

身奉公、歴忠報顾の至勝を信問 趣旨に関し一股企業者と協力一的試験を自覚し象征劉勞動員の

六宿

泪

(4) 製質は風疹物力解肌の特別

時太郎著

國

際法 論

放聯員附添の上宿泊すること

即練は派遣責任敦華員之を機器(2)信泊時に於ける暴徒の生活

三袋等)は出來得れば現物支給額(作箋衣、作業帽、地下足袋

産、醫學、甕草關係の學生はそれぞれ事 地域的集團配置を行ふ(三)其他農林、水

## 在學中の者は卒業後の就業と睨み合せて 最繁を作成中のところ、廿六日、學徒勤労動員出動 宏領及び。受入側指指要綱を登表。上月二は、 は、複地の教育部門に動員するので、飲るの時 より動員質施に移ることとなった、自国の原 専攻學科を考慮し 費出職権におば(一)理工科系第二學年 (二)第三學年 在籍者は **廖年正徽宗は各工協議山へ分別に関し卒第多ら可及門ン同郷島** 上り、文字消り題作の、決散熱助員である、なほ理工料系第三 緊急を要する生命部の人の動員學徒は二千八百名に 門部門に動員(四)文科系學生は交通、 に動物するととなるので、微質的卒業場上である 通信、食精増産へ(五)師範學校在籍者

## 勤勞動員出 各職域に配置 七月一日より實施 動要領 校學門專學大

局、道時間の問題し対一副単立一口、知識事次王として音楽の音で 文科系學生生徒 師範學校 多数に上れる智問に能が最初間

大學專門學校

**玛科深學生生徒** 

| 製年料質者は約三元〇名に

防疫等に制食す

「 第二 要。 領 (1) ※ 被導力線の場力車頭 (2) ※ 被導力線の場力車頭 (2) からに対しての間尾部側突破回数 からに対しての間尾部側突破回数 からに対しているがり間に対しているが、 1 には (2) では (4) では (4

に相称する程度のものを確位と

(◆) 協力を受くる酸量量は原則 水) 替にその旨を明証すること 水) 対にその旨を明証すること

農林第三原年(本質の年)

農林、水産關係

動員置施型網にり島柱鉄忠の一島社働員非常指置に基づく単位

第一方

受入側 針

の措置

要綱

衡陽陷落迫る

至威と動勢即数質の本器に徹す

異層計算を作成し行くことでなる最少限度としょうかの配表を表現が限度としょうかの配表を表現して特別なの

機能な務く職器しまったわが中文一戦を開始し、廿三日夕郷に異類場かを中心とする教第九版監切新聞一緒を興くす息然男演製造ひに猛衝

殿を文飾した中央総督部隊は夕野一覧が表る十八日長沙南方の保州電

力師は頭を動かれて極度と遅れし

が無いで無くる重要が最高的なる。

鉄閘を保ちつつるつた范東佐身軍「河西岸原衛閥家口に進隊、十八日 漢線以東新遊河々畔地區において一は〇〇快速部隊の協力の下に新述

日までに收めたる販果つぎの通り を展開中のやが補総脂部隊が廿六 沿新)に對し六月中旬以降<br />
療滅職 ちつくあつた塔里提身軍(司合際

【中部太平洋基地廿六日同盟】サ

舟艇群に必中彈

ダンの獨立を拒否 英、トランスヨル

(司会陳沼新)約二萬に樹し十六|同地西北十キロの地部において敵

の頑硬な抵抗を挑除しつく十九日

朝には周辺口を攻略、さらに南巡

五楼一、整楼一五、小统一、五 〇〇、経統二八、不の心神疾な 九四、伊塔五〇〇名、殿後品 わが方に收容せる政死を一、一

域ならびにラウラウ方面圧墜地帯

の敵陣地とアスリート飛行場附近

្返してゐるが、廿五日には同島 イバン総方面のわが航空部隊は歴

> 國政府に優遇を提出、英國がトラ 「リスポン廿五日同盟デンマーン

つく中央突破、変に巨五十キロ廿

殺却した。市内の第目師、新編に日夕派には落と東衛衛場が外

河、附所に翻訳な数の抵抗を挑しき廿二日敵水渦巻く沫水を奇脈を

は、は、日産郷を関れた戦力をもつば、は、日産郷の野中で、日間関)、異洋山流 てあって無過度を置行、廿五日級

保力とおび神欲諸部をはの後極 とよって初閉の大動脈気が緩を確。らい関連をつうけては目には四部としたって初閉の大動脈気が緩を確。らい関連をつうけては目には四部としたのが、またいのでは、なが明されていた。

蓋河の歌、河南省南部に絵唱を保

てある

敵陣地を連爆

処理する問題表した

所に敗戦を帰場中であつたが、京

果を擴大、京を〇〇、田中各部隊

作戦を聞きはかりかね湖南々戦の

大陸の機能に確つた任文条空間の

の歌師然の問題を続く強いて勇識」昭等は諸師の問題となった。

U

び湘江を繋ぐ長沙公路制を作取を

源口海軍報道部發表

職職らレつく十八日朝早くも挟縛、十キロ)を占領し日不敗職急逝中

ど多数

【漢口廿六日间盟】わが陸軍部隊

鬚 間の水路制壓

池、すなける十六日復年行動な明 日夜半を押して駆戦の火墨を切っ

出した00、林の各部隊は頑敗を

して廿日とは南水(周殿口南方二

限開中のわび海軍場子工部隊は作

開始「衆一ケ月として早くも田

10

開中の佐國海軍部隊は六月

计六月午後三時) 長沙公路

大軍

と激闘

が、際の防禦衛火は瀬次帰ぎりつが、貴屈群と製し帰艦を取行した。

はれる

今はトランスヨルダンの獨立間

郷務官はつぎの消り言明したとい

この要求を担他し時地の英國高等 リヤ、イラクと同等の翼立を許容 ンスヨルダンに対しレバノン、シ 死覚=トランスヨルダン政務は英

するやう要求したが、英國政府は

つある

後まで延期されればならない。

日か、美沙閣水路を完全

物を中心とする戦勢力能は防衛層(約2歳~す歌祭曹海戦治かに猛艦) 横線域がた成論、今今市南勢人 (弱魔前衆義道派員士四日税) 長 作戦軍は敗廃の破壊に立真りの縁)の緊縄で在安全部の即継ば點をる

我が精鋭郊外に殺到

(2) 紹为申請(建求) 法報に必

側の希望を整的して、之をなすと

国と遺伝を表明すると共に名して、一国「屋校橋力険の縁首は成」の基準動資本能に指する地域を定し、一旦を周知徹底としめ其の取扱機(八、動政務) 「「京本」(の基準動資本能に指する地域を定し、一般を以て動資の基本の資産に、不同

五、勤労協力指導を対け分別 日間其の他勤勞協力に関する精 況に関し前項の時間は過度 (5) 女子殿師及び陳經代之を課せざっ 季年以下場併と制しては前端の 季年以下場併と制しては前端の 學

する酸帽、その他必要なる事項が、保健施設、特に機械に要取給與その他勤勞條件、袒舍の 数職員と協力し出動すべき爆使
・運輸に係員を認故に派遣し 質任教育員之を行ふものとし受

生活で悩むしむるやう指導を行いる場合制練期間を設け延辺南日本の教育制練期間を設け延辺南日本の教育制練期間を設け延辺南日本の教育制を記した。 八日酬令第四十三號及び第四十四

場体に数では本府関係局群長及び一家大助員置施中であるが其の他の りては卒業後の威略と睨る合なせ き頃命に種へ理科系で調査年にあ

**製造室・繁奏をご開場** 

始したが他の衝闘防衛領は東から

)陸上による食機測絡が困難と

のちはじめて反撃を耐みるで

萬を粉碎

敵失二千七百

廿六日迄の戦果

また江南地天町地で原本するたと また江南地天町地で原本するたと

行場の使用を拘束し

カン情勢の経浪に盛みイスタンプ

ンプール死職ートルコ政府はバル

困難なる状況下とおいてわめ格具

観令を行いてゐたが、廿五日政府

ルおようトラキャ山方一種に被

公報をもつてさらにこれを六ケ月

河南省南部で殲滅戦

縣完全占領

第七里四ケ師に過ぎず、わが精鋭

級ち朱承を贈り廿一日衛山を扱

東攻風科で考慮の上数に文理科系 を選し直観學校全部に対する動員 記録に連絡、其の協力を得て各

間潜途更減し四に「同様校保行は

的制量展開を見てある

新勤勞態勢確立

體を顯言

現

殿園館々事大を加ふるの秋、 でして平紫修練の成果を設置し

各額の中等<br />
整複生徒、<br />
國民<br />
酸校<br />
であることとなった と就会直性風物學を指動勞動員の活

製化工場、事態場等に既に積極 機能年記画の動員に関しては各道

動徒學中田 談長部本員

機能的貢献をなるしめ以て半部に の新動物的戦の確立に責せん

質の場合は必ず女子専用とする

いては思慮、治経、複雑其の他と思いるとと

5)除員の死亡其の他軍大なる事

高、管理家をは臨時の給頭を支 、準に帰り管定すること

に於ける家族の出頭の場合は家

・一交替制による深次(午後十

は通勤時間に被

對しては受人間に於て『朝鮮觀

狀況に留意し疾病裏故の防止に

し必要なる施設を整備すると共

部線は感過宵圧数職員之に借る

訓練、修整、娛樂、休養の設備

風記等につき周週格なきやう音

(3) 瞬員の父母、妻子の死亡(危

(4) 派遣管任政聯員に對しては

(3)窓泊中は特と保健、临生、すること

(5) 程度經華広報年一月及び六

稻米增産の方策 異常 日本評論社報 みつ 川沢貝賀 八八

らしむること 機造者を選任し其の教文的組織

日本 飼彩

料經濟の構造

197

17000能入

八、其の他

は報告を勝するものなること (6) 開解制整杆及び新は船間船に其の攻ず防細路を設備すると

南方へ挺身する人々へ本の神路の組 近小論 製器 和 近小論 製器

受人側にがて質嫌すること 動勢養鞭の一間的取扱の

遵すること、但し無當料は一食

付すること 2 報覧が基本報覧及び特別器

## 學校側の

措置要綱

し得るものとす

受入側に於て本型網によるこ 三、附則

のでは、 のでは、

第三集日本傳承望話集

帝國學士院推薦

勤勞協力指導

大東品戦争決機の現役間に終み 徹する最近動勢動員の積極的に 際使動員非常指置要綱に持づく

第一要領

(3) 関係教動員を派遣し作締場 と野前運絡を行ぶこと (一)原校網力酸の出動下命あり

(5) 映員の出動中學校総万候員であるの機能を附せしの且つ奇も

の種類、内容等に付換備知識をして出動すべき除員に對し作業 検査を實施し出動の適合、從黨 題を行ふこと・

非すして重複線力酸粧身潔公の 単能各人に割する労納の報酬に 単能各人に割する労納の報酬に 七、報償料理 とと こと 動勢筋重受人間指数型静に示さ ると、報復は工場事業場銃型征 ると、報復は工場事業場銃型征

のなるにつ会派遺跡丘牧師員は 力之 利的子氣物方法

的取扱の適正を理すること

附則

部画者 | 口能調子果器 | 近個 部画者 | 口能調子果器 | 近個

小火焰

これるやう指導する 受入側と協調の上質的に即した時間による協議がりたる場合は受人側指層型網層二、駆像一三 る措置を勝ずるものとす

三一町松久・篠本日・京東 んせまひ汲取文注卸 屡 順

米新大使着任ン世語

ローリンは同日ラベスに着出した 米爾代理大阪エドワード・マツク したが、之に伴び新ポリビヤ脏部 【ブタベスト廿五日同盟】イスタ 世三日ボリビヤ國革命政府を**承**認 問題】ワシントン深電ー米政府は トルコの戒嚴令延長 整 安 與 行 脚 之 是 與 與 行 脚 是 史 與 行 脚

で 一般 では、 一般 では

房 書鶴

教學練成 (送料及稅込)

六月號

— 實卒檢定試験特輯號 

凝離受驗界綜合通信添削會

で、原検質機器を持て、青春に関内容光度、い、深別は丁華正確、正しき解答(典成の上深別指導を持て、青春に関内容光度、い、深別は「東大徳大学」というなる大陸切手対人の上軍込まれ)

敵に大波亂を

那部論

論石田重雄

重慶よ!改むるなら今だ思想決戦委員會を結成す…言 (部総會)

概にしつくるるが、敗ば自と共に

歌の上、これに猛攻が加へて敗艦 上を整備した外、敵権動部隊を

条 こくとMの発派なる物かと振暢と

容前ともいふべき行力な

學徒勤勞動員

事業場等の統統不足を単位によう とはいいなから、いはゆる工場、

技術的には一般体験質に敬くられ

る點があるとしても、矢づその談

ことが出來る謎であるが、學徒は

て確かが如き歯骨を破に他のる要

の歌舞において、聊大なる損害

いながらも、熱物且ひを押し

道は俯へてゐる。

の一種に膨敗を決せんとの野鼠に る機動部隊が、マリアナ問題に運

に四月廿八日の城今を以て、その 屋中の敷見のを読と跡が竹敷寺の 地本郷領地に本がの最神動員本部 本郷に称する代館的油川の前崎を の表標が決定してのるが、関節い 選匹と生かするとだい間目を述くさ よい、東大の数、関とその動き出 いたはいただいとは、国を

ときれてはならな。

選正に生かすことに限目を聞くこに倒滅して、異会の成果を駆けわ

持し、特に國防施設事が、軍職祭

方面に関しては機器、防機のこと

製局を左の通り逃べてある 脱」前院ロイター特派員は糾階の

大化を認む。サバ局

7)H3

展在の動勢励員については、既一がある。即ち、些人間も愚狡酷も

|一般の動物が七十歳をいて大宮 心死間が振り見げられ、前級に行って、トコペイ島を容置し、特 下の口といひながら、日夜を分え

職する監察格氏は、軍に叩みどろ

になって続ってあること、東京大

ることは存されない。この同は るるが、我々はそれなりて安地す

ては、作別、東攻科別、農産別で

労動員の腐骸なる場所に恐種的に

裏することによって、勝利への

マリアナ階層をめぐる歌劇はい

苛烈の戰ひ

12

壁せしめて<br />
るる以上、<br />
これが神給

約一ヶ師の兵力をサイベン間に上とを終記せればならぬ。既に敗は

て鎌後一個問題はそれぐ職域に

言画のこの指数は、単確をして

側は任務管者の悪格が関により、

長の公路を六ケ年かりに部の論宗

するに至った、右につき廿六日本

優野九名 · 我有機關係三級、機脂度分六一

に日都太平珪基 地で大日前閣】 サイベン島にお ける地上歌風は

を続けつくあり廿四日を現在なほ

好機を排促して態は出来或は極勢

能験はこれを選へ決戦に次ぐ決戦。七十四メートル)の線を保持し、を作び、減水北上しつへある、わが、後方をねタボーショ田(標窓四百

ガラバン市街の大部分、同島の最一院の構入、さらに他地などにより

死別者を生ぜしめたというと

AL-14

過日までの職 で成めてあるが

百四十機以來襲

消

息

丘貂后周政課長

機化の一端を辿ってあるが、 サ 島をある中部太平洋海域の市局は

六機が突撃したが、わが所在部院

遊出にかけ物回により 政職が被十

五日大宮路に破壁破機七十四機が

感した、わが方被がなし

(外務省・博戦局外期側位)

東京都京橋區木州町二ノ四

ソロモンに州機來製

宮 大 **タ** ロ プツヤ

**建**中六层。 盟」サイベン

ゼーテンゼには四日素的からで、一大の一日間とフェンシアが開発している。

カラが在地域によれる交流観光し 長り 暗蝶へ出発中のところ甘した、わか方の地域に整理をし 長り 暗蝶へ出発中のところ甘した。 カルカの地域であった 日午後周城繁元

は上、ヤツブ間にはコンソリB 來事、またロタ風には艦艇使五十 漢攻撃勝以來敵に封撃されてゐた 州、長沙間の水路間路を完了、町

制限もり、本作戦における場合戦

飛行場使用を拘束

【リスポンサ 六日同盟】 ニミツ

敵、損害を認む

日本航空部隊がサイベン殿の米

月廿六日)合歓左の通り競合让ら

長に吉本大佐業(法

を加へたため過ぎと

れたけ

六日の公報をもつて

れば海漢線飛びに一路南下中の日

振鳴三キロの地脈に肉無した あるが、廿六日での最先難部隊は と發表

金集は耐人衛陽外郭に製到しつく

「耐寒甘六日同盟」「動即放落によ」

数数域への大きな目標が、われ等

な言葉ではあるが、脈揺の功を前 網路長のみに振るのは、砂砂の大

> であつて、生産増弱に積極的貢献 際の真姿を納現せしむるのが本旨

のであるから 哲身輩公する単征

こと、報信の選も考別されてある

をいるとでは前にしてあるとしては、同等他就なく勢加する

(2) 棚員中島校側との連絡者を事前連絡を行ふこと

社

說

更に散空世籍を求めてこれに至近空中戦を影開、敝の十五稜を監禁

日夜つゞく

るものをすら出してある。また統一することも出来ず、さればとて、 官機の敵闘的ましく、未だ損らざっをある職に行かず、また見殺しに

刀の資を概ね後定の消り結んで一ろに低極用の禁鉛が膨上に埋蔵 響所贈ソロモン破壊は工夫と第一常にして喧気工事の起ったとこ ーム、マグネシニム、無水波機・せて精練江水気の取力は文字通

> の対型の地体だ、ことはゆるや おきたいのは総州から多種館へ

> > 職行爲は嚴厲と取締られてなり、 見られないことである。この反衝こといふことはドイツでは絶對に

それにも増して是非紹介して

地熱としての整つた地相を具へ

かな丘陵の河らいる美しい工能

に死刑をもつて随動されることに

も制行機が設見されたら直ち

生産戦に備っ

李 麗 野 雷 岡 正 光

く道路を、芸電線を工業用水路 を、理例を、活動を、調道を迅

難にはベルリンにあり今茂の縁手

にはローマにるたコツクの一邦人

つた時色となってゐる。第一次大

前大戦當時と非常

顔をも加へて稀に見る関係な工

とはほどに滅が、北安の地下陸 て傾らなくなった揺縁江の水派

見たものなどは、人名ない、この

國内生活安定に 戦
ひ
拔
く
獨
逸
國
民 十字線の合作によって戦闘行の る程近くには結婚戦の修見を占 などに観光戦の大道が大地では、名とも行動いた神の領域が崩 避えれてある。基地は、転撃江 つにも行動いた神の領域が崩 期上は、水戦の時間を構力と併 ほれる 審は○○人の人力とセメントと II、第II、定州等の沃野部らな界条際に、整線、鉄州の大陸町工 然ニークスの大きな能があり組

に短用し、腐敗治衞の基置を標か

群財政経済の軍點が向けられ

物がなくて町を彷徨してゐたもも素足で歩く市民を見たり、食

從つて、連開は直接空襲と結び

政経帯の分野については歐洲交 次に自分の研究を命むられを財

といることになる。



致團結

戦争に勝つための方策 何なる女田も惜し戻ない、すべ

> は企然インフレーションの合物は 郷政策は成功してかり、ドイツに この意味においてドイツの財政組

一切符をもつてある者が資へないな 感が風情になってあるためであり

の事業である

ツが英米ン三國と最後まで戦い扱 といってあた。いつれにせより

次田球糖問長は第二級伸金支出、

地間における最初の防衛航でな量

シュル・スール

一選一選の激散機行出

蔣ウオーレス

。 呼新役員はこの 程次の 通り 独定 へ明能文人 軽回 曾短歌部會本年

共同聲明發表

五日同

が 原理は左の通りである ると上にあった、協議さるべき のととにあった、協議さるべき

【開京廿六日同盟】伊國旺龍代理 伊駐華代理大使着任

臭にんにくの常用

助発を記めの

**配置符七十四条整整統八百四条** 

◇オルシャ方面

盟」国際が建じよれば米嗣大統領

水田財務局長東上

く理解をもつてあることは難ひ得

間に最密から見触されたのに比し 条が敗北してをらず、ボーランド、ツはイタリヤと辿つて電気的には せんとするものは一人もなく、 ハルト三國フランスでの他バルカ てドイツには上盤流の活動を妨害 つて來る解審を除去することに一挙政策整行に関って必然的に起

(京湖 加切大) 行り図室は上機能のもとと一般 ツの情勢は全く疑ってある。ドイ

べきことを駆けぬと する日本で戦ひ扱く 共同の敵米真を職滅

指導者の腐敗など駆像性が置って

程デフリカの領土全部を喪失し「宮廷勢力の劉立、一郎ファシスト イタリヤは敗職を重ねた。さらに國内的にはファシスト職と 開闢し非国を悪いた



整備員達に添られて一路決戦場へ(大平洋〇〇基地にて) **吳崎報道研算機能,海鹽省町可震第一六號—動送** 外郷地區の攻防駅は今後も暫く細の攻撃を粉砕した、シエルブール

供出超過を加算

■を抱へた婦人が任復士八里の れぬ、中には原か一貫、三世の ころ 左様な傾向は 全然邸めら

際には那銭局の良き指導が興つて、

報便に離協の協力

このもあつて深くまし

な。即ちをを言のなりは

する説明についても取れる機物特 また生産責任制と表演の関係でな

国心理を最も弱く担へ、増進ら供

問備者の徹底、推動共間顧費の では、空間が回接が見の記憶を 書の頭前決定は、従來部落方至

に個人の三敗に分けて変施してゐ

度任創型成後の絵刻画の自然消費

つて、これは最近の衣刷網絡狀況

四国現在の影響は地ではよい、

目標館の九十一百五人は道より納

野が各面に極端で入るる層代供出 言明他に認めたとである。 力めることが見ますわけとはゆか

【ベルソン廿五日同盟】藤統大本一

BREEFSEREER

することが用は、平・せば内回れを帰に見る場性で、欧州人で平北線湾に海・陸に流域は豪策の援好の繋びと用

間長留極の席上を借り短時間なが 勢絡関旗打合せのため招集中の目 配着は恰も減ぐましい抗出機関、

は楽場、勢力等を勘案して個人

ら直接第一級責任者たる目面長か り現状を聴くことを得たが、それ 昨年迄は日間の配布に際しても

に五ケ所の大阪所は一週間前から

物物を利用にて、東であるなりがが、例年によい第一配名は恰も減くましい供出業職、不申抗にで、東であるなりがが、例年によい第一配名は恰も減くましい供出報酬

増産輸欲唆る新措置に期待

立三四日校の海し渡しり

が地である。木年成

安草いが、一種の浜出江連貫配

生命責任制置所に対する民心の

条への十類も論明

と語ってある、然しかやうな場合

あたのであるが、それに比し下イ

ン廿八子同盟』編軍監局一郷な廠兵力のため梁に駆倒された一 巾街地遂に 獨軍最後の一 敵手中 彈迄死鬪

ある 行解除の情俗の無償は次の通りで が断たれる直前シエルプール要塞 シエルプール型態と分界との連絡 「ベルソンサ六日同盟」甘五日夜 一・チリー地頭では反陽舶組が得た。



殿の特別の際は廿四日夜オルス河 口下它都被國家高地、國的一種 【ベルリン廿六日同盟】覆萬文章 **反樞軸艦隊に大損害與ふ** 

いても顕揮守御際は米國軍の一切 に位属するデニ・ルール要類にお ル半間は依然獨復の手に確保され DNBの航線報道によればコタン

> だと観察したが、頻解監局所は甘 間における宗軍の損害は、買公萬 一日石鐵製を消滅し次の通り時明 「問報局は六月廿一百過去三ヶ年 2011年月世 たのは城部第一年目であり

の類似便率施設および搭線施設の

【ベルリン廿八日同盟】廿五日の 一切を破壊した部廿六日建築した

郷はオルス河口沖合で上陸撤四 **職透圖一隻老六藏**,更に沿岸砲 集を解沈、砲艦三隻を奏し立し

**一** 白 萬 體

(甘田園園) ソビエー

ビニュト情報局の観察は完全ないあり、

がチェフ、シロービン方面で新攻

○モギレフ東方 目下ムスチラブ

新館地で震戦中と続じてある

機でザハロフ勝顧殿下赤旗と獨リ四方からチャウスイに至る取

百千口の戦機が惨憺な決戦場と化

**\$** 

M

すれば四王東戦 削额報道沒綜合 區の賦況は次の するに至った。

ではます。 のプレギモ のプレギモ のプレギモ のプレギエ のプレギエ

百二个、高射砲四千三百六十六 ◇ボブルイスク 中部地區で激闘

MA PULL

タン学院北東部ならびにジョブー

シープアール、ヴァローニュ道路

赤軍の突出部擴大

は廿四日派域は頻繁の演奏な形式一地路において突出部を擴大するに

は物のまでもかりません。だはい スク自動車公路上ビデブスクの各 師機の影響に比べれば自分の影響

職を展開中である

状態はモギレフ東方、スモレ

は活地の攻略は激戦のの心脈滑

かは然ち順味といる▲我が本土

が駆けポロックとピスコー

燃ゆる紀となって、酸にはない幻

南京

\_2

れた赤軍の攻略に関し個烈ない歌 有力な城事、歩兵、容置に接続 舞車は中部地區の全職線において て次の通り製装した

的に最高させる必要がある。他の

ぬめを持ちたいとする心理を られぬのだ人跡つには「人の特だ

を表による内出生間も<br />
派車順項の 制度が出出書への一因をおして

れてのる宗原神器の象は五音がにように自五十萬須田、一九四にならに自五十萬須田、一九四になるとは四五十萬須田、一九四年の東神器の象は一九四年中 会入袋によると派譲はピヤジマー九四一年九月廿七日旅村フォー 月廿一日までに獨軍の得た赤軍 で大大公園主の推議を出し 个一图 年 n 展開中であった記憶は古典日と至 原方に空る二百千口の職職で攻略 部が残のビデンスクからモギレフ 「ストツクホルム社会目間盟」中 赤軍進出遲々 さらにボンルイスが東南のロ

成功した、右の簡単語では目下被

間の後限を勝断として一元した例

大物 意からか、これは人

整理品を見につけ、手に持つてあ

でれで質が我職してあると言い ンペ、スフの國民服、代用皮の靴、

して手に入れるのか戦争以前の

見ている・古物を理定させたモ

【ベルリン社五日同盟】瀬統大本

は勝頭の映を見る。迄終局をつけ ない、一に島駒八一にも勝利い るものでない以上、勝つとり外は

と場合は 調合は での出る ふとである。現に新としては容易一供品の誰と影響することが確であったとうても聞かたのです。 松永街 るが問着はこくできの一つのこ

たい面段階氏から開き得たとい

だけで耐って那内の併出第二英質

も完発せんとする計画なのである

このことは蛇の針巻による縁載の

廻るものであって郡自衛として寿

は増産政治に共出な機をある最も てゐる勝思心理を記念に把へ且つ 大きな情域となってあるのである

これは最近における物質情景と概

関値の大田引上が動脈の処営以動が金融状態とり推しても見つまた な呼んであたいことが言える最

本意はビデブスクの郷里橋西奥が

を、我々はいつまでもいったり間

る酸は物域を特んでくといふ言語

いたりしたくない。種とって作

【ベルリン廿六日幾回盟】無統大 ビテブスク遮断

疎開と文化 遂克

きてからのことであったと思ふが こいふことがあるのに、酢都を鑑 れて地方に傾開する音は単伝者で そのことを極くてか、ある評論 | 天君のへにこそ死なか

中はそれり深ますく既んとなっ さることが人々の胸に得かこんで 書は、太平の通民と化する解解者 との意味の概告を述べ、また症

考へは一般にかなりあるのであつ のやうである。 **許著の服务の服界を越えてあるか** 都に対するさついる風な紫朴な

である。時期からいへば今年には 空機の特徴に極らればじめてから きたのは、大東型脱野以後、魔族

想の一人を自任するものが概念な て、さらい人際に日本の文化指導

をする以外に生活出来なかつた。言語や吐いてはならないのである

機能する傾言があつた。 六日正年シエルブール戦場に関し 來聞-歐洲道政反播軸軍當局は廿一

定で出版する。
立七日朝帝略東上、甘立日間の後
変行教育案が影響東海のため てある 戦について、古五日次の瀬り蝦道し 教特派員はシニルブール市の市街 【ベルリン芸芸日同盟】口を前 軒毎に白兵戦 的級職者學出了智順在会然 女八旦元午一寸前宮ではシェル

及し六型線送町一集は炎上した 市内の家を那く特火魃化してを、一市内の家を那く特火魃化してる。獨国守情隊は同一他でシェルブール市内の各層を 際は過度がチリー市を放準した国 【ペルリン廿六日前盟】總統大本 チリー市放棄

1ローニュ州合のグリネ ラーロ

- 二二北方) 近傍の反隔軸船圏を

◇ビデブスク方面 | 赤原はビデブ

間のためである言を明かにした。 継続各般にわたる米勝間の協定統 ウオーレス來前の目的が野、政、

では米個民主主義となった。

六、米鹿間の題

商協定の締結 對る米國の援助

香統 下制 七組

戦略は五時まで一座間にわたりプ

【ベルリン廿五日同盟】獅運館局

オーレス、腸が石共同際明を登表を重ねつくあつたが、廿四日夜ウ 数次にわたつて脚が石と香見協議

機械製とざれた

總督府辦令

(芸智)

と説明書籍品・振巻東京一七〇二六六番・博仁曹駿用二日分・東京杉南區阿佐か谷でえた。博仁

房

二、米路関係を締結し相互の永久

共同遂行を期す

大個リネルン氏は廿六日午後一時半開屋機等、イタリア大山場に入った。

長距離他活躍

興へてある 交戰停止 0) 廿六日帰妻した を撃破鹵獲 戰車九百七十

> 四方でセマトン級関節一隻を炎上 職し、まに同見後

じてゐるが、赤軍は縫深陣地には赤軍が幾出部を形成したと報 進出を企画してなり、獨叫報司

よる異国の頑強な抵抗を被って

機構改革

がの事務を観 がの事務を観りた では従来の選

低迷 交级材料等のため資源

山田理選長再任

住宅營團 ウオーレス軍魔防門の目的作糸

0

兆候なし

資格軍長田関地に

級被物組

ロンドンおよびその外外に断一てフスポンは六日同盟プロンドン 反機軸軍言明

西欧防衛軍智局の言明によればバーベルリン廿六日般同盟・ドイツ

イマーライン中時間下のドイツ後一島に横見原理を加へた ペルリン盲爆・バイン 震は西日はベルリ

企画してをり、個側報道は層面 【ベルリン廿六日同盟」獨空軍場開 際は廿五日夜白路服職における赤 ンスク奇襲 獨空軍スモレ

う内部機構改革を行ったが、新機期能住宅警測は時局に即願するや

約の事務を翻りた。 がの事務を翻りた。 がの事務を認めた。 がの事務を認めた。 がの事務を認めた。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまたる。 がのまたる。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまた。 がのまたる。 がのまた。 がのな。 がのまた。 がのる。

京城県人 大学会科 | 炭を海水本 巻端 | 京城県 人病院

奇響な歴、輸発車輛に大型開東部 を投下大爆戦と火災を生せしめ池 軍後方機能スモレンスク厚車場を -いふ欲望と総縁出死な 人間は不思慮と他人の

してあるのは、他人の特をぬ物を 施味として活かしてある監例と 歌その他を完勝な言葉でに攻略

▲國語如果

薬除驅虫蛔

毎 小大人一 四八月 能能

蛔

健康の敵

品製材植

金原外科病院 院長医博金原將星



男子青壯年募集

海州・群 り得てはならないのである。まし 疎開と太平の党民化とは全く背反 念を押込むてはならないのである中に、身うごきのいかぬせまい。

だけで二十歳人を貸してゐる。

欠臨者の疎開も、私の知り合び

北江資森駅から開は宮川駅に名

一の投資信託

學校諸團體の取練め御往文に限り受付申候

П

100回(何口でも点込める)

源は深く強いのであって、その皆 不文にのありやうを考へれば、根 文化の消長などにあるのではなるのではなく、恋して物質物質

部の不心唇者が勝村に練用し、あらろが、支那大陸に北遠に家族 んがんである。ガタルカナルでア 勿論そのことならば、さざもりの ツツで、インバールで販売しては 略を示れると、途方もない方明へ はずれて行くのである。

皮肉にも東京都は、ロンドン・

一時的のものとのみ思ってるては ならば、意然、異なく工概をも含

されてはあるが、それを戦時下の 脱主義から、質の骨骼に目疑めた

生産に立たない文化は際に否定一逆にそれらく機構を持ち強へつた 事何以上のものが、解殊の日本文 化には検約されてあるのであるか である。白種紙の先人が、たとへ

要であったので、日本の文化が重 根は、紫外でこから輻靭に張り続 られて行くことを期待出來るの ならば、野妹の日本文化の大きな

正と昭和の初期の文明開化流の文 ければならない母間はさついる大 化概念が観つたともいひ得るので

略に様く思ひを致して行動された

えてしまったが、この軍大時期に、その首白権の生態をうが失敗した。ニューョークとり騒かに人口が応、地方に振らはつてあるのであるが の育成を即村、工場など生産場に 勿論であるが、日本文化の頃の音 次めることは間違いであることは

店

ъ.

文化だ ◇阿民婦力研解職用主催で留少 より 顔の洞壁と海洋 ▲顧問 國際部類◆相談投 爾 田羅一郎、角田區司◆部議員

◇松志韓間皆曹伽爾を廿七日午

朝鮮理研金屬株式會屬特ェ南町三分三

かしておったい方は際所へず

ピタミンB ーアンプル中三、000單位 今津 化 墨 新 究 m

向血壓 中風 WELT

高血壓







松本誠氏

であるがこれは療薬等へわけ らぬ問題である、土産代り

この節隊でも半島出身者

活動的であり如何にも容頻に遊し

防空襲動の完璧が一は防空の適節のため参考となるべ一の空機を行ったのな数にく大規模 して大栗次の加き放送を行び全國民防空への總統高を使した

会一、二に就て述べる、一昨年四 月十八日初空間以来合回は一回目

町の好機を提へ大学生に既と所題 容服の準備が丁を持つことなど根

令小規模でもサイバン方面に陸交

職である、われくいしては他盗

いる失態を育ざることによらぬと

商財殉師、機偶御帰は耳を襲す張飛行機の保資が天地を置し、

待避 まることが必ぞる

式であつて例へはアメリカ太平

ない、他つて繊維には順難と歴男

果となる一時発記をしてその級

れに新聞し明安殿県を確立せれば

難を聞るのであつて

を共に冲して一見聞に懐絶を極

て嫌難に対する無視な恐怖を一掃

下八百線名の風港に城隍的に使用

開発を破で自

フンテンについ

にあとく

をあるのだら 部の人な不常に い全く小規模なものである。まる 機とか二十枚殺とかいる値がなも であるが一回とも空襲数は士六 人所。一門 安戦の部駅に入らな一力を意味してあるR19を使用して

一來た、今後の空間の判断あるひ、十六日に至って再び致て 小規模 れを恐怖せしめんと狙ったものと

用者ならのになるこに後の影響と、今回の冷寒の今後のに関が回来、烈寒なども一部防寒一の暖いであるここをこの

青少年で果してどうかと深く考 へ老この目で見て死念が半路~ るやうだと響んであた、あゝし半島奶粉者はあたかも開催にゐ (東北班) 東 黑松實践部長 (四國語) 内鮮一個別特よくやつてある。 が少かつたが撮沂は個々と入り

伊塞四姓氏

ある、際兵を受







助会に出ればならぬ、宇国教養公別であるが顕常としても全後

かご確認する。物の施設と併行した。対ではなく頻像内でおいて直着をおけるのがではなく頻像内でおいても多いに安小したが、これは内地は

後も各位の協力素闘を相待する

力の指用を第一主義にし併せて一て死亡でもことはよくくのこと一てはならぬ

に足らない、まつ第一頭が印中し

防突以所の理観であることを気礼 田盛なる西田機念と攻撃補助とを

今世道内で終利を目的としない方面には特に傾用むしめて頻繁所換

・ 大学開西では小園県の経典が超い ・ 公にれてくも含めて全部署に関用 ・ 大学機関では小園県の経典を見て ・ 大学機関を ・ 大学を ・ 大学機関を ・ 大学 ・ 大

の指待院養養に臨み継続を無ねた と語び生後六時閉會、一同は通常

早くら效果 月四日まで、五日間都任の確定である。

小鹿島でのセ

一次造りた銀刊 [原京 化性] 映画社では同時間である。

の無雨があつたのだ、全雨に中、北鮮や中心に一幅度金

るめ、傾付けだ、降雨を待つ

記りは南北に当かはいつ

2

に鮮全

皿達磨こなりながら 屈せぬ突撃魂

る加山路原館通出身志度自己 庭の戦野に比絶限師かも実しむ 不成の武功に蔵南解見らはッ程に輝く金城、無山、島間三郎士 先輩と対け、と他のなる地蔵を 衣を染めた

地兵金 (層) 高層

飛行機献納基金

○部隊○○際長上りの手靴によっ し明らとなった以下その文印=

め、切手五十年 の新聞名記載の が高口あります。 の新聞名記載の が高口あります。 累計

以前會朝田主事を幣間、廿六日、日本のたの機能と依否と協議と依否となりを開いることと

古あ、傾付けに突瞬だ

(自帰)自己語は上言は

突破だ、用水も開果し留け の語いも若含も一種に傾付け 政を強せず原原年間は男

を一個もい 天師の禁節 れてあるが 別年と比し

四土吸

哲等の常に威険するところであ

いれきに

物・目まび・のほせ・便秘・る・動脈硬化・悪性皮膚病・腫潜伏慢性病毒・胎毒・神経痛





省九二旬南東部港

海南島派遣醫師豪集 、待遇探否、而談 京城市、明朝縣總督府刑務官練習所 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、前談 京城市、市 京城市、市 京城市、市 京城市、市 京城市、市 京城市、市 京城市、市 京城市、市 市 市 市

は成立を開き世路日帰賀県別れな は成立を開き世路日帰賀県別に同様な が扱うと開き、日間別、部別別に同様な

類果奴隷を開催する管 類果奴隷を開催する管

く國防訓練を施し強力と陥くる皆である

本社客託献金

職へ三十年の指指に輝く早土を連続しては近代時後海人の高級超を信し破別間を組つなければならぬの 政治機道はご同切に対応等に成立大のよう的ハイ な響 品質純良强力美肌源素 リーフパーパークリームリートが自治ロート・統自治田

集

三鍋製鍋所 員 教教教

このほど膀胱した、各派部員の筋の物にはそ 治芸和く行脚し期待以上の成果をおけて全費 の目でその足でその耳で生々しく情報した

穗積臭六郎氏 (近畿)

爆弾恐るに足らず

【大阪統計】中部第〇〇巻隊は廿六日子前七届BKで通じて『北九州空軍の後計』・滅

防空は訪火ご消防の戰ひ

8 送放課參

る、欧米英は野日でいる。でしておうことはく見るのは周辺などあってして 今後の経験もこの特形のものだ

今回の学園では職は場理のかった

經驗から最初のことは

める。皆つてナボシオンも「触丸などで死傷することは極めて様で

東にお除し下さい 快やよく減く泊る サ

の花木殿本

配用で含くな難選集は七、

まっちなとでおれば全く

ために特価機を整備さればならぬ は明士を駆けて通ると場所した

を受験が 工 で

たである、内地の半周が新聞に協力が絶對に必要であるといふ

県が無つたと思ふ、半島の 便宜を買へてくれたが終をい (東海班)

く触えることが随和の根本問題

入つた【電景―派遣為紙吹第―他 製面的な硬い々留々の衣を

であるが一般は状だしの感が深

常によい影響をもたらしたものと著へる

波田重一中將 (田屋)

して灰た、内地の寄少年の心間をもつて接して欲しいと思望し

良好である。北時方面には廿年の着、學兵とも脈況はいたつて、 埋の良否によるのであるが根本

士二方は張日冬方面の砂勢や交戦一記と関之質覚、『日本に米て八抜衆城中のビルマ朝五郎八・ハン暦』統十分間、如熊ホテルで、郡管に 温い軟待に感謝 バ・ハン博士記者圏に語る 勝來について深夜まで融り合った 書はれてることを知った、と 一年の期間が理論でなくて現實と こへ行っても減かい心からの歌信 で和無駄々の

いるを取ったけれて開発を目には、る大年男子の家院が行った。

一十六日は年頃の衛島間長の青年状、道、教練などと近一時間に買り年十六日は年頃の衛島間長の青年状、道、教練などと近一時間に買り年代の一大大大

丹意と順度した、更に第一軍務後

民を育むたの人花を取りす嬢成を『あほによし』の合唱など第二國

開訓練所を訪問、梅田所長の先等

に多位を悩めてあるが、パ・ハン

器けるので何の土地へ來てある

府尹の招待午餐館に臨んだ、午後一で練見場に縁段げられる場で、歌

てあるのを看取し非常に半層に親

次いで連続場で跳縮空元気に踏ね

分別行進、殺帛の報合も親い強力

日時内を視察して半島の古代一

皇民化に驚異の眼

ビルマ調査團牛島の教育狀況視察

ころろ 見思、思理北丁の脳の 脳

一時十分原版女子師殿に車を走ら

せ安岡模型の案内で地軸を指がす

ンなる感じたビルマ間で配一行は

物がしない。と左のやうに感覚を 続じた、第一は日本が風器を中今度日本に先て特に二つの點を ことである。第二位八紘一学の である。ビルマに到する酸かい すべの點で内鮮の人機が本質にいふことをうかがつとが、今日 るから上帝の代りにされを利用しある。モルマには竹が瀬山め代じたい、次は暗堤排水の施設

状別脱類ならびで配戦問題につき

の関語で京協に創設するが、七一

て密戦

敬のは射をものい

盡忠の祈念もて挺身せん

京畿道宗教團體撃敵へ總蹶起

九日に來城 顕航野野 川岸中將廿(東京電話)

見、非常にられしく思うた一間に加つて生活してあるのを

年の一番に振身し速かに仇敵米延を攻破 大削に服保者干除名を乗し宗教仕 に先立ち午前人時半から朝鮮神宮 から京城村民館で開催したが大曹 **国际通过大野工廿六日于明十部** 常に結構する米英雄政府破滅宗教 性は数征甘食器の総力を必要元

して駆逐に膨へ撃らんことを軽つ と指数次いで瀬戸知事立つて

要工態の活躍なる展開をもつ **和人意思、別接に要認する所で** 

送200萬0半日

あって任ずる陸南物での他次版

内地へ

渡い所聞自由的務

おいて吟放し、全解名道から倒給 どのであり、夜寄はこの大学が

はたい、なは最近では戦争而と奥

力をなしてあるといっても過ぎで 彼等の教粉こそは諸殿護漢の原動 識その他名稱の野外野外に從事じ

見く完全なる日本研師に破する。川に沿って遡ること下、甲長野殿「蜿山殿上を近ねるがより、この川

のである、更凝道装置松から天龍

分の仕事に不確を抱くものは一度

にいけれてある。統領において自

の機能、まにレルカンプラによっ により何時も機器がかくり坑天井

ころで聞いてある人は単せです

のである。また一般化炭素も放射 て自分だらの持場を見分けるくら

られるので願れぬ者は十分もあれ

際の敗闘振りに炫跳を探げたいも

るるが、前当は影響的計画と る〇〇四の年間の新治を大利し 移入的称語、自由労務者といつ

幹やなず性原用級の窓位所可能事

て受入れ、彼等の労務極身に割

等を設けず県國臣民の一致とし 他待遇の點に於ても何んらの第

として聞ふ産業職士の姿に構れ彼

ちは今は同郷山において概とまで

坑夫の七個を占める早期的影響を て境内に戦労してあるが、金

の場所機によって冒度以上の高温

がする、内地でも指数工場を見

気外から流れ込む台類との中和

工がら一人七分、中には二人工ものは、別となく大阪は一人半

感謝の念をもつて一日も

歌或は田奥街東施設、橋工橋の根

主義の務合しては推納の理論、修

就好してあるものをいふ、既力増 主に各地の土理工事は、続出等に

照に必然格測といる大き花園を

程言根性をかなぐりまでかわれ

送00歳に強調する00名の年

ルの地下に超下げられ網で根出し

よる製品機の瞬間は坑内にこだま

彩期限など問題とせぬ、 将資材の領域語に挺身する

する、エーヤ・コンプレッサード は会視の四根と熱汗を流して発見

重要な特別に同型されて

てある

切羽と

呼ばれる作業現場

数場そのものである の中にハツバがかくる。それごそ 與松菜山脈の中腹に位する古河臘。」は天龍川底からたほじ〇〇メート

感謝に撃敵魂の半島勞務者

へきな誇り

質の概器をも多くしかも早く

明として半日を乗り、からけ る、複彩は最初二万月間を顕微期 り本府が斡旋した移入等務者であ 局限一は会員が分務動員計事によ

数米英の職権に突退せんことを

て台場を府民館に移した、この日 事、機械競技を関係し時道、保険、 曹孝子八本義者、曹子宮書宮内

**元 高安城科** 

と決議し大いで削穀時にし地でふ

影解的文を決議し、最國臣民の城

嗣を無限り獲行かばりを合格終つ

蓄 **資料を含さなります** が投資法! (戦明啓発星)

**護巾御會养御贈申上候** 代理语 ② 朝鮮 子羅 類品株式智士 ,57 遗高三 族井 同實

予1銀パと号 全國類店ニアリ

してゐる。古言はも所計の脚

株成等に寄せらせ着い奇響を思いたい。四、東や名の様は東所は、東京電路1、最大行監下には、布に領域があらざられた荷笛木

华大智御所忆而候、大谷皇太后

十二所長を引筆廿六日午前九時

殿長陽蒙空隊長光田槌輔氏以下, に関係党を行長音識別品の間山

特に関下の時にはつた関方事品

別れ土在物程と迎へられて各数 を調て産業年島の借力に援助、

畏し

皇太后陛下

類患者に有難き思召し

せ給ひ大常制能解除数の為。御出されたので、厚生容融に原生。遣を受け御務部に威廉語下した 召から光明型后の御代徳を偲ば、に御下助波は云れる部廿六日印。宮大夫から有難き御下陽品の解

の印架機物均能に放闘する戦士、

に對する部別的偏見、資金その

早く廿派な島國田民になるのだ とい身を打込んで回つである づ開語を完全に密得して、日も

空行ひ終って決層に入り 老して佐川先近民、紅七本代表し 演説に移り朝鮮的教を代表して金 て南郷一郎氏がそれる〉決落派説 ル戦局は終に決戦中の決戦期に のを画文に引止めれるや『と一会社 がぬのだ。一人でも多く
うせがぬのだ。一人でも多く
・校して死ぬ、離せり』と去場一 だが小阪の映射を糾げて吹入す

で、発・組曲・団体的人は、平向発して数の名」▲七・四〇六年と表数では数の名』▲七・四〇六年と表数では数の名』▲七・四〇六年と表数では、第一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の

方谋 散图

を表示をい数の間段、 配 ののち歩心寺住職番山大騰師式 新づく宗教仕郷に近身し連かに一致の周揚徹底に旁め以て思过に一意に減づく競役の決破年間と戦 東米英な戦器して増加に限へ略

り (物理価間特殊要 勢として止まず、登つて宗教信候のの王物種 炎人し皇國の館替古に服るくの 一般の道は一に國民の物種型と

> 開幕の情も効なぐ 開及び廃脈指傷の 一様は良好の一流 日衝突を浮かべ

を昭へ即かに展回した(以下略) の と高手を解けて 天園陸下部域 文と名物で と最後に個かなが 歌 日本交通集調へ・〇〇水次周等・増加・胡将川人長に平向祭一 れの南はか大野一子、間で兵の後やジロウ、キタハチ、歌勝間、師

الراث ل

子供を惱ます皮膚病

パイルなどの験人品で

も國際品で結構です、他の比較近

そろくせやが至のはしりがは知らないが、一家で荷島車で

である。幸年は一般気軽には

四大門駅の防衛が設備は廿六日午

防衛秘談會開く **易校五年佳山正備** 

木監機関の自主性を照觸した

自作疑路将加設の行政関係旋に関

映監啓發協會

要能なび映礁政商功勢者の

では、一般のでは、一般のである。 臨時腺地等管理令を改正し

震災無稅五年指禁熙▲霧削尚民

学師同戦の議覧で開出

会然行使らなかつたが、こん

初期の手當が大切

真和動物はどうか、その他権りに の用意は出來てゐるか、

あけれこと、外出の際様女子

へき人子供などの待避説所は

うか、待護所の上を復ふれたと

斷じて守れ我等の大空

く子供をつれ歩かねこと

増設に大きな後に立つものである

際訳で六十名の瞬間選が扱い作の から十八日間毎日午後二時から五 しい関係の除暇をさいて七月一日 民の貴い汗の総配で今以韓塔は着

百廿萬府民の蹶起を促す

型と建立されつくあるが逃では亡

関係機関の連絡を単に密にする一覧専中の不電路を脱守させ保護

める

n

なく申告

怠るご總動員法で處罰

に副ひ物品の贈答は絶對にやめ

英原よ永久に安かれと急じつ入官 忠靈塔へ聖汗

者を有機的に結果し、

に至った日より十四日以内に行ふ 申告は帝國臣民が科學技術者を

が陸海軍前人にして臨時河間召集

能力、配置等の機械を明

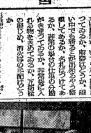
の者、内地、高端、南洋棕櫚文は

血書で徴用歎願

嚴正な服裝で國語常用

保導聯盟各種の計書樹立

解報が競合されたら芦、屋子 は被ろしいものである、病





れらの物は火栗の原料、飛行棒、 国威・大砲などの様除用・人造皮一亦成別に運なるのだと京城保護城 荷く逞しき配征を作らう、趣聞も | 関では このほど左の如き 計量に

内员会町六丁目京城府軍事投版 基書保護の萬金を明するとになっ 識々しく単立つ根場の面、府

ないればならない、科學技能者の 家総動員法第廿一條の規定により 関かされることがあるから注意し

て申告度れや申告の戻りがあって

從つて甲齿を要する者は一人とし

る状況と在る者等は右の各項の一

事用により申告をなすこと能はざ

拘禁中の者、疾病、傷寒その他の

開東州に旅行中の者、法令により

に該置しなくなった日より十四日

今やう鎌倉武士

雄々しく単立つ職場の華 母さんから **一般以に挺身して** ないことを終ひます。 と答案 とのことを終ひます。 と答案 朝鮮医長務部権國安田約天氏は過一て戦金レ部内職員を破助さこた 版足をもつて強か一時間で司令部 兵務部長、安田氏の美暴を表彰

員配場、修了生徒サ名参引して。さで飲内は勿論選く前級で活躍 京城庁所衛兵統総長以下側の職(同修了者至長就職選みの報母レ 整接所打字科生徒のピー式 する女性もある 【度篇=軍人投 ら自ちに整國部を消じ恤兵金とし 行爲で私すべきでないとその場か 運動を設修したが、同氏は依然の 作品一點を到ひせ六日午後三時か 道徳に聞する作文を募集したとこ なほ然心をから得る一見面は左の ら発長総で質品と無状を接頭した る関源数計點を突破したので優秀

軍拨授産所の打字科修丁式

瞬間課長から生配制代均田光

が際田とれます。この諸子は際に一用ひまずと風味があり喪味しいも 補修店について明々観録、

町の第一級行政機の登前をはく

その候補者の研知は中原技・破院補者を拠集することになったが て紙身すべき一次行政的院指導員 有する者でその利別に限じ特殊の卒組または同僚以上の科力を 変 夫が続けてのた常仕事を細胞に引 たちが引受けます。と四人揃って 見として、出致したので、後は私 手の四婦人は夫がこの機動鬼隊

のが原命物です、俗に「形火」と

ツレ大老くなればアクリノール器

そのやうなとは沿りません、

加へれば一階質がです

ール等を立るが

とつて恋立たせ、恋物社を作る時

義勇隊指導員募集

题、 会派图子、 企本形像、 沙山部

の秋山順名

漬物汁は煮物汁に

一日に数回取換へると比較的一般した小ガーゼを覚て入動祭

い皮膚病です、高度となれば前部 治して下さい、温気は通路性の弱

代 文 文 一

TO THE STATE OF TH

答 土物は京成セメント製品 用ですが、配鉛方法を削数不下

トは家庭の修練用として、各員と

数置してくれます、セメントは出 約合行分は、公司に関して自 自菜をつけると酒の立つた上升。

際に共一を押り始めましたが、

のものや一般家族用には廻ざぬ か石灰を作用して但ふやうて失す ことにしてるます、そこで小石と

始して、関先は爪が門と供給して

家庭問答

ですが、砂汁が強しくなるとなど

水配の中の水分を阿酸水和また

の皮膚疾患としては兩横綱格のも

おでき」です、飛火と共に小見

一ち、あとへ頭針難オレーフ

てておけば、三日で軟化し払び です、明教教者を「ネル」に死は るやうなもので效能が必りませ

のです、これを治すと内攻して却

手出来難ければ良慎の暗油語でも つけておきます、

地主はその学をどう場分したか

ú

ů

よい、あまり極岸が強しければす

を用ひるが、このために却つて飛

で言といくは直ぐ硼酸軟みなど 財務させないことが大切で 「お 手僧としては、水部の水脈を他

き製品です、五〇〇伝水路液を 温疹=乳児の顔を頭と多い

といって無理に剝せばむって有害

が現を勝まするのです、入浴

理解が規によるものです。係や

原因は確認状験財法だは

だ知言などを受いて、そこ から関が怪人すれば 一次元 が出

はく、水野地の砂雨 のです。最初調い被販があり

出来ますが、それが大統

育兒講話と 紙芝居の會で見得る

心に加入経営の移動映場の謝

行かため京城府では廿七日午後七

経験を有する者、年令廿五枚以

は我が 世界型が末ツ子の登を空へと続け またかうも語き添へてあった 十五センチもあるおやないのとと ら程でを持じた登にくなんと八 た母を慰める、胸間が少し足らぬ 綺麗に拭くたびに湧く母の愛 の熱い接触、この部びを失った母 といふのでよく風呂からあがった るが戦死したときは私と一緒 子の象徴 るいま物へると子またい無特になっ 視が潜んである、後科学の応溯 が脳のられてゐる。日一日と一 年飛行を聞く母である。わ一子さん】

何か知ってるる、あれな歌節機と 知識をひろめるのもやはり豫科線

際二要、軽減、重選整機、京之登 以が唯一の形見として残ってある

地とつたらののほか、戦

過しい後を選ねてけかも形んで行 行機が飛んである、一機、 の母なればこそである。けるも飛 いふるのだとと家人に逃行機の

穏

た必然は、<br />
今度の<br />
病気で<br />
廿一番に

學校のことを僕の前一

經ってなかった。それですぐ、

かくる段感、飛行機等の不要模

(四)

**常笛は鳴った、軟呼の扇におられ** | にこと無心に微笑むばかりだった

ある、彼は京総道樹栗五年生を施それに母の客等子さんでみが

人さへびつくりした

がやはり荷物になっていけませ

としてさうツと持つて出ました

かの哲子に母が異を折つたときな かったになそんなことくらるでむ どんたに登せるりくしたこと

業立つのだと思ふと自ら心は築

手営、花蘭手覧十期を支給・

一瞬自身のことつて何をらうな

ある挑戦者(ご)

^

0

153)李無影作)

ん いつきでも家に置いて下さ

る。最えるとも知らず聞えたり強 胸膜らせがら 耳を聞ける 巻であ 科練へが口から出たくあ母さんが

感激の献金

歌を歌ってある。とびつくりして

からかふ岐の勝も母には心よる

平端碧雲内の徹民検査は十五日か

さう窓ばらずに卒業するんだわったらんのおやないりさうでせる。

「強ふわ。學校は今更、どうにも

校に高飛びをしょうとしてゐたの

殿は思ったよりも罪かつ

甲種合格自配

母は強し4

戦り出した登の窓があった、

さかる母と子のあひだにはいつま これで見る母は泣けなかった、遠

一級で結ばれてある一

た、そして征った後には彼の歌作 めひたすら正く日を持つてゐたの 科練である、回場をうちに深く感 だがその少年もいまは七つ町の深

模型機

て動き出す汽車の窓には上平身を

「震災ー登録と復取で見入る姿気

んたがね、最近、思ひつめてあらい恒労やなかつたの。あたし、あ

るのかつて いってた。微 ると思ってゐ 御知なさい。あたし、さらいふ

であられ、際、すぐに近

いけで、脳が干切れるやうな思ひ

落別は適格者の医談館を数十回 即ち四月以來重夜を分をずに部 れに感激した源格者一同はそれ

一同概念于图] 期鮮単雲國部を訪れ献金した「名 ぞれ版分の酸出をなし計八百二

も生々しい心間を挑へて廿六日端 新設町一四八、松井和根君(三) 大れて下さいと短頭、一同変感 御御用御師のします。との前庭 去る五月から各町曾、日帰貿員 が社員の大々的境際を押し、

いる心臓へと、今まで自分違い

の植物的協力援助の下に全言器 げる所内計員数は四月末に比べざ一 こ三千名頃の一選三千名を敬へ 鉱動を網鎖展開中であるがぐ

だ左配町は香棚元人で客一 がはになりとした。 る心境が聞きたかつたんだわ。 うろん さうか。 見得から聞いたんだらうこ

同日 100 C 元 こ 加明に 四 敷図町 10七 C 10九 花 四 敷図町 10七 C 10九 花 作三八五 (1三O) 宮町三八 八二三二十二六五 一八五四) 一五

路場するため 輸送増配交通 が開設。

間中に個内の國民母校生から交通

釧路塔では少國院の交通道便心を

賞状に輝く作文

自作農創設を幹旋 「うん。考へてはあるよ」 でも、同時かは、さらしたいと考 あたし、はつきり機なた

第一は眼を吹くしていった。

世紀 は、このほと 郷郷 第一番 郷帯で明か 命江結々市要配されてきたので たが、昭和十七年間立以外、 定款内容改正 査研究職物館、研究館の開催及び

◆超級組合と訓練協議すべき場合は佐城 関地の所在する音画合は佐城 関地の所在する音画

た、その也正規制をあげると 統理に役員すると共に、國民文化領の符合的過程を関り、以て朝鮮 場がに生産力の地理に置するため は領は、役員及び職員制にも会

(A N K B ) ( A N M C) 趣開かぬ間に終わゆくを 食うたる吸 Ė

送演





羅津



京場劇南城劇

入院室完備・人光線

桂洞町 入口 東角 電光③821



土兵

闘しん

日本ニュ

若

お互に職場で

頑張らう!



義手足・コルセット

多個 御馬望·林·枝樹香絲派 御家在以十日以內完成

**岛馬 高野**義肢製作所

技術優秀



場別一第一座治明



いやに深郷に高へ

いら、兄母は、ううか、聞も



1888 人ス

嵌

通町志堅

番五五二 ③ 四化光 話電

場劇央中座

兵隊になれるといふ悦び以外、いてるんだと汝の母った。我の





瓜

葉

何造運搬。

京城府敦岩町 291 / 46 敦岩町電停北側 電東 © 1492番 

野場ス 楽 喜 戦場ス 强力拡声裝置 東朝 通信機器・整流装置 (セレン) 低周波 受振器外測定器 明鮮通信機製作所

一段等の飛行機



雄羅造船鐵工株式會社 邑 事 務

田一力が安全を対する

備完室院入

理事務所

原が最高が開業を表現では、法がいる。

の

代診局で国際の主義科学本人外代診局で国際の主義科学本人外の元

沖電氣來曾社頭 院長金子雄治 京城府建路區益善型 電話③666番

上陸した/ いった

の一部は真躍出動(今や苛烈なる戦らぬ。今こそ敵撃滅の好機だ。果せらぬ。今こそ敵撃滅の好機だ。果せらぬ。 對の信頼を探げて必勝を斬るもので 闘は續行されてゐる。

いるが同時に此の國難に際曾して我あるが同時に此の國難に際曾して我あるが同時に此の國難に際曾して我

今こそ一億總蹶起

全生活を戦力増強に 切替へるべきだく

マリアナに砲闘轟き

戦力増强へ

活を 蹶起